発行日／2017年4月14日
編集発行／HAJ ㈱北海道アルバイト情報社

TAKE FREE

vol.5

マチ歩きBOOK

ぽ歩らいぶ

豊平&学園エリア













とことこ、てくてく、マチ歩き。
ドライブもいいけど、たまには「歩らいぶ」もいいよね。
見慣れた景色のその先に、
素敵な出逢いがきっと待ってるよ。

アルキタ HAJ ジョブキタ HAJ しゅふさた HAJ アルやる学生応援ナビ HAJ

マチ歩きBOOK「歩らいぶ」vol.5
豊平&学園エリア
発行日　2017年4月14日
編集発行　HAJ ㈱北海道アルバイト情報社
札幌市中央区南2条西6丁目13-1
tel.011-223-3533

「仕事や暮らしを通して、人もマチももっと元気になって欲しい。」
マチ歩きBOOK歩らいぶは、そんな思いから生まれた、
HAJ ㈱北海道アルバイト情報社が企画・制作するフリーマガジンです。





いつも通るこの道。
いつも見るこの景色。

通勤や通学、買い物で
いつもは通り過ぎるだけのこのマチを、
たまにはじっくり歩いてみませんか。

志村鉄一という人が、
暴れ川と恐れられた豊平川の「渡し守」として
この未開の地に定住したのは約百六〇年も昔のこと。

時代は移り、この川に橋が架けられてからも、
暴れ川は橋を何度も押し流しました。

でも、そんな難儀な橋を渡って
このマチにやってきたものは数知れず。
荷物を積んだ馬鉄や馬そり、
乗客を乗せた路面電車は、
マチに賑わいと活気を運び、
たくさんの人々の喜びや悲しみ、
出会いと別れが橋を越えていきました。

いつもの景色の中に隠れた
このマチのオールドストーリー。

歩いてみて、気がつきました。
エネルギッシュで情に厚い「豊平人」の
志が今もこの街に息づいている事に。

昔からある古びた商店が、同じく年を重ねた
このマチの人々の為に店を続けていたり、

「食べ盛りの学生さんが多いからね」と、
赤字覚悟のボリュームに、栄養と愛情が
いっぱいの定食を何十年も出し続けてくれたり。

人情いっぱいのマチ、豊平。

オンボロな佇まいも
どこかほこらしげに見えてきます。

このマチにある溢れんばかりの魅力は、
インターネットや情報誌では
探せないものばかりです。

だから、歩いてみませんか。
見慣れたはずの景色の中に、
きっと素敵な出逢いがあるはずです。

CONTENTS

04 とことこマップR36豊平エリア
08 とことこマップ学園エリア
12 豊平のすてきな仕事人
洋菓子 サンモリッツ 法島 芳夫さん
16 とよひら懐古　馬車追いさんのはなし
18 豊平のすてきな仕事人
谷島青果店　谷島 敏郎さん・静子さん
22 とよひら懐古　幻の「月見電車」のはなし
24 4つの時代のお店と6人の店主達
26 学園前いつもの場所それぞれの時間
30 春の学園エリアでおやつ散歩
32 豊平区のおもてなし憲章知ってる?
38 編集後記

企画・編集・取材
㈱北海道アルバイト情報社 歩らいぶ編集チーム
〈取材〉すてきな仕事人／山本公紀　上坂竜彦(有限会社シーズ)
とことこマップ学園エリア／新井田早栄　蝦名佑美(札幌大谷大学まちけん)
〈デザイン〉山崎啓太郎(株式会社プリオンデ)
〈イラストレーション〉似鳥春瑠奈
〈撮影〉工藤了
〈協力〉豊平商店街振興組合　豊平区役所　歴史研究家 中川昭一さん

とことこマップ

ROUTE 36 豊平エリア

国道36号線沿いは歴史が深い！
元々は、定山渓鉄道が走っていて
ここにはその「豊平駅」と「役場」があり、
そこを中心に栄えていた経緯があるらしい

そうか！「じょうてつバス」は元々鉄道会社だったのか…!!

ふむふむ…

豊平川

ドッグサロン レア

巻で大人気のラーメン店 いせのじょう

生け簀にある美味しいカニがその場で食べられるよ！

ここでなんと50年も続けている名店 昔ながらのラーメン、定食が人気 味のいとう

とよひら山幸水産

山三三つ屋染舗 P24

大正7年創業。着物のお手入れ＆洗濯 お洋服のシミ抜きヤケ直しにも対応してくれます！着物、服の事で困ったらまずはここへ

喫茶MP4 P07

喫茶カプチーノ らーめん孫子

とても落ち着く空間 お母さんの作る惣菜がどれもて寧であったかい

エスカロップとスパカツが食べられるお店 落ち着く〜

一風来

グーニーズ

青葉苑

晩酌かぼちゃ P07

見た目はとても怪しい…でも、扉の向こうは地元のおじさんおばさんが楽しげに盛り上がっていた！

ギャラリー犬養 P24

気づかずに通りすぎてしまいそうな小道を進んでいくとあるのです。知る人ぞ知る、隠れ家的ギャラリー＆カフェ

大正13年創業の老舗帽子店。常連さんは90才を過ぎてもお孫さんに連れてこられて皆って帽子を選んでいくんですって

とよひらスナック P29

札幌中央信用組合

森田写真館

RIDE LIFE P14

田所薬局

ススキノの老舗ステーキ店が豊平に移転。元中華のシェフなので、中華の副菜を美味しい！

ごまそば あずま

リバティがいし

ここに「豊平町役場」があったんだって。跡地を示す石碑が立ってます

●さんぱち

●エネオス

宮越屋珈琲

100年以上続いている老舗のくすり屋さん

日替わりランチがなんと¥540！広々として、ついくつろぎやすい空間

プレミアホテル TSUBAKI札幌

アイラン図

300坪もあるリサイクルショップ。とにかくデカイ!! 驚きます。

活版印刷一筋72年！

印名堂

21時までやっているので仕事帰りにも！

●北陸銀行

スープカレーen パワークック

ワンダ商会

サロン紹介

おしゃれな着屋さん。主な取り扱いはユニセックス。7割が女性客なんですって。陽は企画展示スペースなので そちらも要チェック★

こ、これはなに？なぜ/から 懐かしい〜!!ってモノまで!

yarn

ヒサロック 13Rock P25

自転車を素敵にかっこよくカスタマイズしてくれる。オーナーさんは、とっても気さくで色々親切に教えてくれます。店内はオーナーの好きなものでいっぱい！こっちが元気になっちゃう楽しい空間

ヒゲがセクシ目…

月決駐車場を通りぬけた奥にある！←目印の看板アリ

松澤水産商事 P07

毎月10日の"魚の日"にだけ開くのです！

地下鉄「学園前駅」方面

P18 谷島青果店

東洋堂薬局

どれも安い!! 地域密着な青果店

オーナーはイタリアンやビストロ、和食の経験を持つ料理人なんですって。食べるラー油がトッピングとして小皿で提供されるのも面白い

スープカレー香楽

季節の野菜がたっぷり！

聴覚障がいのあるスタッフさんが作るカフェ。シフォンケーキはしっとりふわふわっイキイキと作るスタッフさんの笑顔に癒されます

田中義英商店 P06

ほほえみカフェ

カーム はらぺこ P34

そば処更科 P34

森永漢方薬局

北海道銀行

豊平交番

Minn かふぇ

集舗いとう

昭和10年からやっている老舗の銭湯

鷹乃湯

P06 南風自転車

木心庵 P07

創業110年。幼稚園、小中学校約700株分のパンを焼いています

乗車でも乗れるPECOを試乗させて貰いました。可愛いし、折りたためるし電車でも乗れる、欲しい〜っ

たのしー!!

P06 ミツヤカフェ

この家をご主婦でリノベーションして始めたそう。JAZZなどが大きなスピーカーの良質な音で楽しめる。それ目当ての常連さんも多いんですって。

天井まで積み上げられた生薬はまるで研究室のよう！優しそうな先生を頼って道内各地から処方の依頼があるんですって。不定休なのでまずは電話で確認を ☎821-1888

「患者さんが諦めない限り、私は絶対諦めません。」漢方薬局は敷居が高い…と緊張しながら訪れたら優しくもとことん向き合てて下さる熱意のある先生でした

パンのお店 フィス P30

北洋銀行

地元の人に愛されている洋食屋さん

P06 メナーラ

亜細菜

電子たばこ専門店 VAPE Hokkaido

どら焼き味とか様々なフレーバーがあってびっくり！ニコチンが入っていないので試してみたよ！

スゴイ、ケムリ…!!

おぉっ

国道36号線

移転して、2代目「とよひら」駅があった場所

まるとみ旅館・喫茶

ランチの種類はなんと14種類！しかも、食後にくれる、サービス券を10枚集めたらランチ1回無料!

定山渓鉄道の初代「とよひら」駅はここにあった！

東光ストア

プロバスケチーム「レバンガ北海道」のマスコット「レバードン」くんだよっ

ビミョな？

ここがボクのホーム！

今回歩いたエリアはこちら！

国道36号線エリア

豊平公園

地下鉄東豊線 豊平公園

きたえーる

豊平公園

この春は、折畳自転車でどこまでも〜♪

ピンクとライトグリーン、春めいた外観が印象的な折畳自転車の専門店。この小さな自転車をあなどるなかれ、日本中どこでもお伴してくれて、ギュンギュン走ってくれるんです。小さなタイヤの大きな可能性をお楽しみあれ。走り疲れたら愛車と一緒に電車にのっちゃえ〜♪





3 南風自転車店

住 豊平区豊平4条7丁目3-14
T 011-831-8009
営 11:00〜19:00
休 水曜日(冬期は火曜日・水曜日)

豊平人に愛されて30年の老舗洋食店です。

1 ビストロ メナージェ

住 豊平区豊平3条8丁目1-47
T 011-823-7772
営 11:00〜14:00LO 17:00〜21:30LO
※祝日は夜のみ
休 日曜日

「昔ながらの洋食店」と言うのでしょうか、どこか懐かしさと優しさを感じてホッとする雰囲気。ご夫婦二人で切り盛りするお店は、美味しくって本格的なのに お財布に優しいお値段。どれもこれも食べたくなるメニューに心が躍ります。36号線沿い、知る人ぞ知る 豊平の名店です。





誰が行っても居心地よし！豊平のホットスポット発見。

日が暮れる頃 、灯りがともり青い暖簾が現れます。ひょうひょうとした雰囲気を出しつつ時々面白いご主人と、話好きで明るい奥さんの掛け合いが絶妙です。お店に入ればご新規さんも常連さんもみんな仲良し。それは、きっとご夫婦のお人柄のおかげですね。





7 晩酌かぼちゃ

住 豊平区豊平2条2丁目1-11
T 011-811-8833
営 17:30〜22:00
休 木曜日・日曜日・祝日

「一生モノ」の家具に「思い出」を添えて。

5 木心庵

住 豊平区豊平5条6丁目1-10
T 011-822-8211
営 9:00〜17:00(土日祝日10:00〜17:00)
休 年末年始(1〜3月は日曜日休み)







木心庵は無垢材を使って職人さんの手仕事で家具や住まいを作っている木の専門店。工房では、オーダーした家具の塗装や研磨、仕上げを自分で行う事ができます。職人さんがついているので初心者でも大丈夫。自分で木をを選び、自分で手をかけた家具は愛着もひとしおです。

気づかれない率80%！センスが光る超穴場。







8 喫茶MP4

住 豊平区豊平2条1丁目1-39
T 011-817-1555
営 11:30〜18:00LO
休 日曜日・祝日、第2・第4土曜日と月曜日

キュートなオート三輪MP4がお出迎えしてくれる喫茶MP4。懐かしのアイテムがセンス良く置かれた店内は居心地抜群。道東のソウルフード、エスカロップやスパカツが看板メニューなのもグッとくる！ボリューム満点のお料理、食べきれない時は持ち帰りOKなのが嬉しい！





ギョギョギョッこんな所に魚屋さん？

とある朝・・。奥まった場所にある小さな建物に次から次へと人が吸い込まれていきます。ここは、月に1回だけ開店する魚屋さんなんですって！86才になるというベテラン目利きのご主人は毎朝4時起きで場内市場へ赴き、注文に応じて買い付け、配送・発送を行っています。「忙しいから、店は月1だけ。年だから無理しないの」

6 松澤水産商事

住 豊平区豊平5条3丁目
T 090-5228-1737
営 8:00〜11:00頃
営業は毎月「10日」のみ



あんこを作り続けて85年の老舗です。



※パッケージは業者納品用です



4 株式会社田中義英商店

住 豊平区豊平1条7丁目1-1
T 011-811-5175
営 8:00〜17:00
休 土曜日・日曜日



昭和7年の創業以来、豊平であんこを作り続けている会社です。十勝産の小豆にこだわったおいしい「たなかのあん」。聞けば超人気菓子店にも納品しているとか。お店ではないのですが、実は500g以上なら一般の人も購入できるんです！事前にお電話を。





ジャズの流れる民家カフェ

豊平小学校の近くにある一軒の民家カフェ。会社員だったご主人が、定年を目前に実家を改装してオープンしたのだそう。暮らしていた頃のあたたかな面影を残した雰囲気がしっくり落ち着きます。こだわりのスピーカーから流れる良質なジャズサウンドを珈琲と共にお楽しみあれ。

2 ミツヤカフェ

住 豊平区豊平5条8丁目1-6
T 011-811-5390
営 10:00〜20:00(日曜は〜17:00)
休 第1日曜日・月曜日



とことこマップ学園エリア



安くておいしいランチがお得！おうちのようなやさしい雰囲気にホッとしちゃう。近所の人の行きつけ！

こんな場所にステキな宿泊施設あり！相部屋デビューで新しい友だちつくりたい！

色んな国の留学生がここで生活しながら大学に通っています！

ケーキ・洋菓子のお店。お店に入ると、いい匂いとかわいいスイーツたちがお出迎え！味はもちろん、駅近の立地とお値段も魅力的！手土産にもぜひ！

ザンギにびっくり！私のゲンコツと同じ大きさ！しかも おいしい！激盛ザンギ定食 おそろしや〜

家族みんなで行くならやっぱりSAMURAI！野菜もたくさん入っていてヘルシー♪ Rojiura Curry SAMURAI

お忍びでスポーツ選手も来るという人気店！内臓がうまし〜！

仲の良いご夫婦が営む中華屋さん！調理がめちゃ息ぴったり！私は大人気のあんかけ焼きそばに餃子をつけるのが好き！焼き加減最高！

海鮮丼がなんと500円 学生に人気No.1はサーモンづくし丼！

焼肉 催

近くの学生うらやまし！

ぶた丼 ぺこ

ステキなお店がいっぱい…！

加島屋酒店 P.25

海っと丼丸

天紅

居酒屋 だいこんや

やきとり 立花

愛菜果 ゆあさ P.10

みんなで一緒にご飯を食べる"こども食堂"や地元の野菜を集めた"マルシェ"を開催中！

福田写真館

花屋 北花

クローバー P.31

地域交流 カフェ サロン ぴらっしょ

LOOK-Ka PyPy

お酒落なスープカレー屋さん！

りんごパンのかわいさはNo.1！素朴なおいしさがすき！

パン工房 りんごの木

旭川家具のぬくもりがとても心地良い！セットがお得！

Cafe とまり木

平岸駅→

ジンベイ P.10

ら-麺 シャカリキ

お好み焼き YOK!

平岸ハイヤー

FMアップル

リゾット専門店【F1】Risotteria.GAKU

とにかくリゾットの種類の多さにおどろき！ん〜。ドルチェも全部食べたい〜！

FMアップル【F2】

地域に密着して20年。平岸の平和を守るリンゴマンは、ここにいます！

サッポロ珈琲館

PaZaPa 子供服

平岸園茶舗 P.10

ヤサイ・ニンニク・アブラ・カラメ…ガッツリ系も挑戦したいお年頃♂

豊平町時代からこの平岸を走り始めてもうすぐ60年。白いだるまが目印！

酸味をおさえた飲みやすいコーヒーが特長です！イートインもテイクアウトもOK！

いっぷく いかがですか？

とっても居心地のいいレストラン。不定期でライブもあって、音楽好きにもおすすめ！「エストラーダ」は「道」という意味で、なんと奥様の名前からとったものなんだって！ステキ〜♥

エストラーダ

千成湯

レンガの煙突が目印！開店前からどんどんお客さんが来てるそう！

燻製お菓子のお店。オズの由来は燻製が"煙の魔法の料理"と言われているから！香り豊かな風味はお持ち帰りでも幸せの魔法をかけてくれる…！

おずSMOKE LAB P.31

初心者の方にも優しく教えてくれるダイビング専門店！この夏あなたもダイビングデビュー?!

マリンプロショップ Zoo

香ばしい醤油ラーメンがおすすめ！スープに麺が程よく絡んで箸が止まらない！しめのご飯もまた最高！

らーめん桜倉

喫茶 ワルツ P.25.27

セイコーマート

学園前駅

1番 豊平公園駅

サンモリッツ P.12.30

豊平探偵団 P.11

ホルモン塾 KENZO

札幌つけ麺 風來堂 P.11

ダイエット中なのになぁ…

Family Mart

札幌第一幼稚園

平岸街通

米里行啓通

亜珈里

出光セルフ 平岸SS P.28

B's Hobby P.10

経専音楽放送芸術専門学校

経専調理製菓専門学校

セイコーマート

Dig Beans

ザ・ビック エクスプレス

平岸薬局

北海学園大学

北海高等学校

北海学園 札幌高等学校

北海商科大学

北海学園大学 法科大学院

札幌国際 ユースホステル

札幌留学生 交流センター

フルーリルド・オリーヴ P.11

東豊湯

さっぽろ小がね P.26

Sun & Moon 阿太喜

1番

2番

3番

4番

東豊線開通で改名した老舗銭湯。



昭和43年「豊富湯」として開業しましたが、地下鉄を通すために一度改築となり、それを機に「東豊湯」となったそうです。今は二代目社長と奥様、三代目の息子さん夫婦で経営。未来の四代目のお孫さん、五代目の曾孫さんもお風呂に入りにくるというアットホームな銭湯です。



7 東豊湯

住 豊平区豊平8条8丁目1-7
T 011-811-0241
営 14:30〜22:30
休 水曜日

札幌ラーメンの慣れ親しんだ味を「つけ麺」に。

5 風來堂





住 豊平区豊平8条9丁目3-20
T 011-598-0028
営 平日 11:00〜15:30/17:30〜21:00
土日祝日 11:00〜21:00
休 不定休

幼いころから食べていた札幌ラーメンの味を「つけ麺」で提供したい。店主のその想いから「札幌つけ麺」という新しい味が誕生しました。札幌ラーメンの出汁をベースにしたまろやかなつけダレに腰の強い玉子麺が良く絡みます。玉ねぎともやしを焦がして取った「なまら油」が隠し味。冷めにくいあつ盛りでどうぞ！



シェフの笑顔で寛げる“気取らない”レストラン







8 フルールド・オリーヴ

住 豊平区豊平6条6-5-16
T 011-815-5151
営 ランチ 11:30〜15:00 ディナー 17:30〜22:00
休 月曜日

フランスで修行してきたオーナーシェフが東豊線開通直後にオープンさせたお店。料理は北海道とフランス各地の季節の食材をシンプルに調理。素材の旨みを堪能できます。地中海をイメージした木の温もりにくつろぎを感じる店内で、気軽にリーズナブルに、こだわりの料理を楽しんでください。





探偵事務所？いえいえ、ごはん屋さんです〜

ユニークな店名で本物の探偵事務所と間違えて電話をかけてくる人もいるとか。ジャンクさと量の多さにこだわった料理のオススメは「ジャストミート」という名付けられたミートソースライス。マンガ好きの店主成瀬さんが作った遊び心満載のメニューにその名の秘密が隠されていますので、是非、寄ってみてください。

6 豊平探偵団



住 豊平区豊平8条9丁目3-20
T 011-598-6772
営 ランチ 12:00〜15:00
ナイト 18:00〜翌3:00 祝日 18:00〜翌0:00
休 空が見たくなったら(日曜日)

学生時代の懐かしい味、覚えていますか？



今年で40周年を迎える、学生のお腹を満たしてきたお弁当屋さん。最初はお持ち帰り専門の寿司屋さんでしたが、お客さんのニーズに合わせてお弁当のメニューが少しずつ増え今では80種類！！これからの季節のオススメは牛しゃぶ弁当。ポン酢でさっぱり、もちろん、量は多いですよ！

3 jimbay（じんべい）





住 豊平区平岸2条3丁目2-22
T 011-823-8790
営 10:00〜21:00
休 月曜日

プラモデルの数は全道一かな！？





4 B's Hobby札幌平岸店

住 豊平区平岸3条2丁目1-24
T 011-842-0678
営 10:00〜24:00
休 無休

壁一面に並べられているプラモデル。「何万点あるかわからない」と店長さんが言う程の品揃え。「ガンダム」「戦車」「飛行機」など、ジャンルを問わず国産品は仕入れられるものは全て仕入れる方針だとか。マニアにとっては聖地のような場所ですが、ご安心を。初心者の方の相談にも乗ってくれますよ！

昔ながらの”ほっと”するお茶屋さん

1 平岸園茶舗



住 豊平区平岸2条7丁目4-13
T 011-811-2573
営 9:00〜19:00
休 不定休

中学卒業後、お茶の世界に入ったご主人がこの地で奥様と創業したのが昭和38年。以来50年以上にわたり、地域の人にお茶を届けています。お店に行くとおいしいお茶を頂きながらご夫婦の「お茶」にまつまる話を聞けるので、ついつい、長居してしまう居心地の良いお店です。



近所にこんな八百屋さんがあったらいいな！





「愛菜果（あいさいか）」と言う店名どおり、仲の良い湯浅さんご夫婦が営む八百屋さん。「おいしいものを手頃な価格で」をモットーに、市場には、朝、誰よりも早く行き、新鮮な物を仕入れてきます。お客さんと和やかに話しながら、野菜や果物について教えているご夫婦を見ていると、遠くから足を運ぶお客さんが多いのもわかります。

2 愛菜果ゆあさ



住 豊平区平岸3条3丁目1-20
T 011-842-6333
営 10:00〜18:00
休 日曜日

豊平のすてきな仕事人 1

恩を決して忘れない一途な菓子職人の話



洋菓子サンモリッツ　オーナー　法島（ほうしま）芳夫さん（71歳）

地下鉄豊平公園駅1番出口の向かい側。「洋菓子サンモリッツ」はビルの奥まった場所にある。あまり目立たないにも関わらず、それでもお客様の姿がポツリ、ポツリ。この人気の秘密を探りに取材陣は扉を開いた。

甘いものへの憧れから、お菓子づくりの道へ。

甘い香りが漂う店内で出迎えてくれたのはオーナーパティシエの法島芳夫さん。ご両親と姉は戦後に満州から引き揚げ、母の出身だった北海道に渡った。かつての炭鉱景気に湧く夕張へと仕事を求め、鍋一つで移住したという。法島さんはこの小さなまちで生まれ、中学生までの日々を過ごした。お世辞にも家庭は裕福だったとはいえず、当時は砂糖不足でもあったことから、甘いものといえばジャガイモやサツマイモなど、お菓子とは縁遠かったと振り返る。

「小さいころはケーキなんて見たことがなくてね（笑）。甘いものを食べた経験はバタークリームをロールした菓子パンがせいぜいだった。だけど、初めて食べた時はおいしくておいしくて、頭がボーッとしたことを覚えてるよ」

将来は農家として一旗揚げたいと考えていた法島さん。けれど、父の「どこに農地を買う金があるんだ」の言葉で一蹴され、それならばと胸に焼き付いていた「甘い感動」の方角へ舵を切った。幸い、親戚の紹介を受けられることもあり、中学卒業後は宮城県石巻市の菓子店で修業することに。とはいえ、昭和の職人は今よりもずっと厳しく、「見て覚えろ」の世界だったそう。

「いわば昔でいう丁稚奉公みたいなものだね。落雁（らくがん）やゆべし、蒸しパンといったお菓子の材料を下ごしらえして、ひたすら先輩の背中を見るだけの日々。だけど、憧れだった甘いものを自分が手がけているんだって自負があったから、辛いと思ったことは一度もなかった」

4年後、北海道に戻った法島さんは札幌の菓子店「一爐庵」で働くことになった。老舗として長らく人気を誇り、惜しまれながら閉店した今もなお、思い出の味として心に刻んでいるファンも多い名店だ。



多彩な機械を使うようになった今でも、手仕事の感覚を大切にする法島さん。「汗を流して覚えた技が個性を生み出すんだよね」と笑う。



「一爐庵は札幌でも一二を争うくらい早くから生クリームを使った洋菓子づくりに取り組んでいてね。僕は入社からしばらくは和菓子の担当だったんだけど、洋菓子担当の先輩が体を壊しちゃって。突然ピンチヒッターを言い渡されたんだ」

ところが、あまりに急のことで先輩から洋菓子づくりの手ほどきを受けたのはただ一日。またもや十分に教えてもらえず」にメモを見ながら試行錯誤を繰り返す日々が始まった。例えばスフレチーズが上手くふくらまず、牛乳や砂糖、小麦粉を中火で炊いてのり状にすることでふんわり厚みが出るという基本の「き」に気づくまで、一カ月半もの時間を費やしたと苦笑いする。

真面目でウソをつかない人柄を表すお菓子。

法島さんは一爐庵が閉店するまで働き続けた。会長や社長は味に厳しく、頭ごなしに怒鳴られることも一度や二度ではなかったという。反面、試作品の材料費を出してくれたり、製菓衛生士の資格を取らせてくれたり、勉強することに対しては手厚くサポートしてもらった。

「僕のことを可愛がってくれたし、面倒も見てくれた。だからこそ、その恩を返すのがうれしくてさ。独立なんて考えたこともなかったよ」

真面目で一途な法島さんの人柄がうかがえる。13年前、一爐庵の閉店により、58歳という年齢にして思いがけず独立することになった。その際に社長からかけられた言葉は、「お前はへたくそだから、材料だけはいいものを使えって(笑)」だったとか。もちろん、ハッパをかけたつもりなのだろうが、今も律儀に教えを守り、道産に限らず質の良い素材でケーキや焼き菓子をつくっている。法島さんは、どこまでも筋が通っているのだ。

「僕のお菓子は派手さはないけれど、昔懐かしい味とよくいわれるかな。材料をケチらずに、例えば生クリームなんかもどっしり目に仕上げているの。そうそう、かつての一爐庵ファンが、あのチーズケーキを食べたい、と方々を探し、ウチに来てくれた時はうれしかったなあ」

ふと厨房のほうに目をやると、焼き菓子を手際良くオーブンに入れる女性を発見。名前は三橋江美さん。実は法島さんの一爐庵時代の後輩であり、独立後も一緒に働いている。サンモリッツの看板メニューでもある似顔絵ケーキやデコレーションケーキは彼女の担当だ。

「え?法島さんと働こうと思った理由?うーん…誘われたから(笑)。だけど、真面目で丁寧で一つのお菓子に全神経を注ぐくらい集中できるところがスゴいと思います。今でも教わることが多いんですよね」

三橋さんの言葉にすかさず、

「僕はしゃべるのが得意じゃないし、人の顔を覚えられないし、レジもやってくれる彼女には助けてもらってばかり。」と法島さん。お互いを思いやり、尊敬し合っているすてきな師弟関係だ。

取材を終えて帰り支度を整えている時、壁に貼られた子どもたちのメッセージが目に止まった。

「ああ、それは近くの小学生が職場見学に来て、感想を届けてくれたんだ。ウチはこんなふうに近所の子どもとか、ご年配の常連さんが多いから、材料費は上がってきているけれどお菓子の値段は据え置き。だって、多くの人に甘いおいしさを味わってほしいじゃない」

サンモリッツにファンが多い理由が分かった気がした。法島さんはご自身が評するようにお話は上手じゃないかもしれない。けれど、ケーキや焼き菓子からは決して手を抜かない真面目さと、ウソのない人柄、そしてやさしさが伝わってくるのだ。



クッキーの焼き上がりを確認する三橋さん。サンモリッツは洋生菓子だけでなく、バラエティ豊かな焼き菓子も好評。

洋菓子 サンモリッツ

- 住 豊平区豊平8条12丁目1-6 第5カンダビル
- T 011-815-0815
- 営 10:00〜20:00
- 休 火曜日(他に不定休有り)



法島さんと三橋さんは「一爐庵」で働いていた時の先輩後輩。当時から同じ職場の仲間が敬語を使うのは水臭いといわれていたそうで、「タメ口」で話す姿に絆を感じる。

とよひら懐古

馬車追いさんのはなし



毎日たくさんのバスやトラックが行き交う国道36号線。古くから木材や木炭、穀物などを札幌に運ぶ際の幹線道路であり、豊平界隈は商業の街として栄えていました。ただ、１００年前と今とちょっと違うのは、道を走っていたのは「車」じゃなくて「馬」だったってこと。当時の国道36号線沿いには、馬車や馬そりの製造修理業、蹄鉄屋に馬具屋、クスリ屋に郵便局、精米所に雑貨屋などが立ち並び、それはそれはにぎやかだったんですって。

早朝、まだ暗いうちに家を出発した荷馬車は、豊平橋を渡り札幌中心部へと向かいます。持ってきた荷物を売りさばき、その日の仕事を終え、再び橋を渡って豊平に戻ってくるのは飲み屋の明かりが灯る頃。遊郭や旅館、一杯飲み屋がひしめく大門通が「おいでおいで」と誘います。目に飛び込んでくるのは、馬宿にぶら下がる提灯に書かれた「かん酒」の文字。嗚呼、心が躍ります。今日の売り上げもまずまず。

一日中働いて喉もカラカラだ。





馬宿に馬を預けて店に入れば女中兼ホステスが酒でもてなし、疲れを癒してくれたのだそう。そうして、仕事の後の一杯を楽しんで味噌や米、塩を買い、家で待つ子供らへのみやげを買ってまた一日がかりで帰っていったんだとか。こうして荷馬車で運送業をしていた人たちの事を、人々は「馬車追いさん」と呼んでいました。気性が荒い者も多かったのですが、荷馬車の上で陽気に民謡を唄ったり、仕事を終えた愛馬に寄り添い話しかけながら世話をする光景などもよくみられたんだとか。そうそう、よく見られた光景というもうひとつ。馬が道路で糞をすると、どこからともなく塵取りと箒をかついだ老人がやってくるのです。湯気の立っているほかほかの馬糞をさっと持って行ってしまう。植物の肥料にいいと良く売れたものだから、馬が糞をするのをどこかでじっと待ち受けていたみたい。夏の間は、糞取りじいさんのおかげもあってか綺麗な道路なのですが、冬になり雪の下にもぐった大量の馬糞は、雪解けとともに泥水と入り混じり、はたまた乾いた糞が春一番に舞い、春の豊平を芳しい匂いとともに黄色く染めたんだとか。

豊平のすてきな仕事人 2

ハカリとソロバンと人情と。

～豊平の脇道にある小さな八百屋の話



谷島青果店　店主 谷島 敏郎さん（68歳）　静子さん（66歳）

降り積もった雪が外壁を白く覆っている。遠目にはカマクラのようにも映るその一角に近づくと、オレンジ色の日除けテントの一部が見えた。くすんだベンキの文字は「谷島青果店」と読めた。

かつてはにぎわう商店街の一角に。

訪ねたのは今年の2月。長引く寒波で外気は痛いほど冷えていた。ふいに正面のビニールの風よけ扉が開き、その間から愛嬌のある笑顔がひょいと覗いた。今日お話を伺う谷島静子さん。この小さな八百屋をご主人と二人で営んでいる。

「あらあら、来てくれたの。寒かったでしょ、中入って、入って」

誘（いざな）われるままに扉をくぐる。店内の広さは十五坪ほど。そのほとんどが売り台で占められ、その上には野菜や果物がところ狭しと並んでいる。大きな白菜、瑞々しいキャベツ、枝付きのトマトに大ぶりのミカン。商品の前に置かれたダンボールの紙片を見ると、値段とともに「甘いヨ！」「お買い得！」といった手書きの文字も踊っている。なんだかとても愛らしい。

ご主人の敏郎さんが両親とともに、この豊平に構えたのは昭和42年。その当時この界隈には肉屋、薬屋、惣菜屋のほか小さな市場もあった。敏郎さんが云う。

「それは賑やかだったよ。通りの奥には食堂や長屋も連なっていたからさ、朝から晩までどの店にもお客さんがひっきりなしにやって来た。うちの野菜も毎日、閉店までには売り切れてたよ」

開業から6年が過ぎた昭和48年、敏郎さんは酒屋で働いていたお嬢さんと結婚した。豊浦町礼文華の出身。家業の漁業で鍛えた足腰が自慢で、結婚当初からよく働いてくれた。それが静子さんだった。



車両の通行が多い国道36号、その豊平3条付近から脇道へ。住宅の中に、まるで佇むかように谷島青果店はある。



敏郎さんは毎朝4時に起床し中央卸売市場に仕入れに出かける。「一円でも安く少しでもいいものを」の思いが品揃えと価格に表れている。

「効率」より大切なものを守りながら

谷島青果店にはレジがない。代わりあるのはバネ式の秤、年季の入ったソロバンそして小銭が入ったザルだ。市場で仕入れた野菜の重さを量り、それを売り台に並べるのは敏郎さん。買い物客を笑顔でむかえソロバンで勘定を弾き、商品とザルからすくった釣り銭を手渡しするのは主に静子さんの役目だ。もうすっかり体に染み付いた毎日の所作。懐かしい昭和の八百屋の風情。

「私ら、ずっとこれでやって来たの」静子さんが笑う。

レトロと驚く人もいるだろう。パソコンを使えばと親切に進言してくれる方も多かったという。けれど夫婦は首を横に振り続けた。秤に載せるから何グラムかをオマケできるし、ソロバンだからご愛嬌の値引きもできる。商品とザルの釣り銭を両手に包んで渡すから、今日の会話が生まれ、静子さんと客の手の温かみも伝い合うのだ。

「パソコンとか、難しいことが分かんなかったし。とにかくうちはずっと対面。お客さんと話すのも楽しいからね」

効率の代償として置き去りにされつつある人情。この八百屋には、それが体温を帯びたまま残っている。





支えられ、支えていく八百屋として

この豊平界隈で店を開いて今年で五十年。いっときは札幌の八百屋でも屈指の実績を誇っていたが、今は「夫婦二人が食べていけるくらい」の売上だ。

周りの店も次々に店を畳んでいった。自然消滅のように姿を消した店主もいたし、「谷島さんだけはずっと頑張ってくれ」と最後の挨拶を告げて去っていった商売仲間もいた。いつのまにかこの界隈ではたった一軒の商店になっていた。

「どうして残れたんでしょうね？」、失礼を承知で尋ねてみた。気を悪くする素振りも見せず、敏郎さんがさらりと答えた。

「それはもういいお客さんばかりだったからさ。うちの野菜じゃなきゃって、もう何十年も配達させてくれる老舗の寿司屋さんとか居酒屋さんとかね。その思いにちゃんと応えなきゃって、うちらも頑張ったし。それにさ、ああして何十年も通ってくれるお客さんもいるからさ」

投げかけた視線の先には、ビニールの扉を開くご高齢の女性。凍てついた冬道をわざわざ歩いてこの店にやってきたらしい。静子さんが駆け寄りそっと腰に手を回す。そしてその女性の杖となって売り場を回り、手となって夕飯の野菜を籠の中に入れていった。多分、ここでは日常の風景だ。

「だから母さんと話すのさ、うちら、まだまだ頑張らなきゃってさ」

この店は客に支えられていると敏郎さんはいった。だがその客がこの店に支えられているのも事実だ。



取材の終盤、静子さんが明るい声を上げた。「そろそろ昼だからさ、みんなでご飯食べようよ」敏郎さんがそっと打ち明けてくれた。「あんたらが来るからってさ、母さん、朝から張り切ってご飯作ってたのさ」

冷えた店内に炊きたてのご飯とみそ汁の湯気が舞う。静子さんがよそってくれた白いご飯を一気にほおばり、みそ汁をすすった。旨かった。旨くて旨くて、胸が熱くなった。



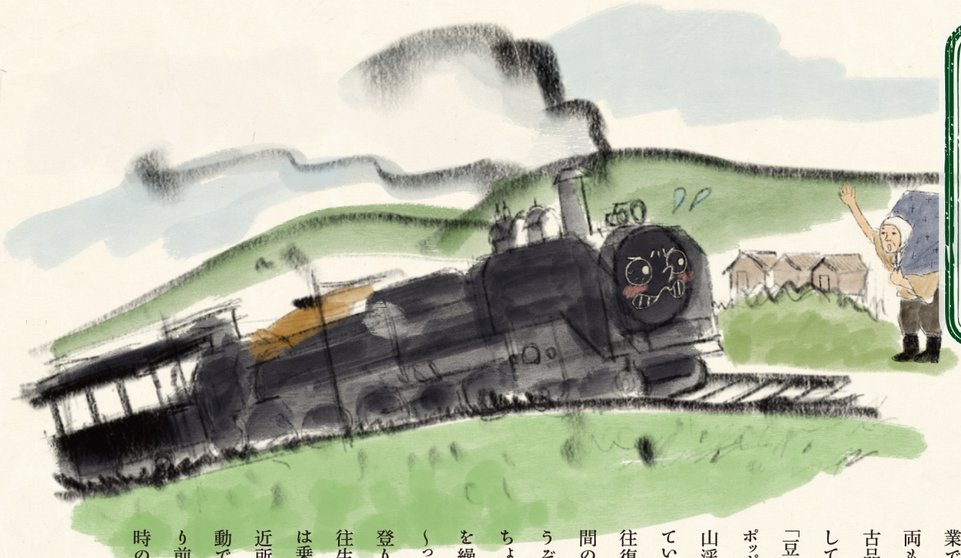
二人の子供たちはすでに独立し、夫婦は店の裏の自宅で愛犬のクッキーと暮らしている。愛犬を抱く敏郎さんの表情は実に柔らかい。

谷島青果店

住 豊平区豊平4条5丁目2-14
T 011-822-7313
営 9:30〜18:30
休 日曜・月曜日・祝日

とよひら懐古

幻の「月見電車」のはなし



月明かりに照らされて、かつて豊平を走り抜けた幻の電車「月見電車」を知っていますか。大正7年、白石から豊平を経由して定山渓へ向かう「定山渓鉄道」が営業を開始しました。今から99年も前のことです。新規開業でしたが予算が足りなくて、車両もレールも国鉄で使用していた中古品。それでも石山軟石や木材、そして乗客を積んだ小さな機関車は「豆機関車」と呼ばれて親しまれ、ポッポポッポと黒い煙をはきながら定山渓までの29・9キロを元気に走っていました。開業当時は1日に3往復。道端で客が手をあげれば駅間の途中でも一旦停車、「どうぞどうぞ」とお客を乗せてまた出発。ちょっぴり急な坂道は、何度もバックを繰り返し「んんんん～っせ～の～っ」と言わんばかりに勢いをつけて登ります。雪の季節には列車が立ち往生することもしばしば。そんな時は乗客たちの為に委託を受けていた近所の農家の「炊き出し部隊」が出動です。乗客たちも待つことが当たり前。のんびりとした時の流れも当時の列車旅の醍醐味だったのかもしれませんね。そんな定山渓鉄道、昭和に入ると電化工事が進んで所要時間も大幅に短縮、運行本数も増えていきました。かねてからの観光ブームも追い風となり、定山渓が一大観光地となっていったんですって。「月見電車」は中秋の名月を望む9月に豊平ー定山渓間を往復したという夜間運行のイベント列車です。そろそろ月が顔を出す夕刻5時30分頃、ブラスバンドによる派手な見送りを受けながら、列車は豊平駅を出発します。車内ではビールに枝豆、とうきびなどのおつまみを、旅館のメイドさんがサービスしてくれたんだそう。入浴も付いて４００円のこの乗車券、販売するとあっという間に売り切れたんですって。大評判となった人気列車は定山渓鉄道がその役目を終え廃線となる昭和44年まで続けられました。物資と人々の楽しい思い出をいっぱいを積んで、豊平から定山渓へと走り抜けた月見電車。月夜の夜は、そんな幻の電車にちょっぴり想いを馳せてみませんか。



4つの時代のお店と6人の店主達

明治・大正・昭和・平成・・。豊平生まれの
4つの時代のお店が今日も元気に営業中〜！

大正 9年創業



よっ！豊平のミスターダンディ！

「イキ」な帽子のかぶり方ならこの人に聞け。

山田帽子店

住 豊平区豊平3条2丁目4-11
営 9:00〜19:30 休 元日

大正 7年創業



シミ取りは得意なんですけどね、お顔のシミはね、すいませんねえ。

伝統技術と現代技術を駆使した仕事は正に職人。

山三 三ツ屋染舗

住 豊平区豊平2条2丁目2-20
営 9:00〜18:00
休 日曜日・祝日

明治 43年創業



恋に効くクスリはないけどさ、まお茶でも飲みなよ。

田所薬局

住 豊平区豊平3条4丁目2-27 営 9:00〜19:00 休 日曜日・祝日

昔ながらの「調剤室」が長い歴史を感じさせる。

平成 21年創業



オレはカワイイものが大好きなんだ〜っ！

ポップなカスタム自転車達にテンションがあがる！

ビーチクルーザー&ファットバイク専門店 13(ヒサ)ロック

住 豊平区豊平5条3丁目1-20
※営業日と時間はお問合せを 011-832-1369

大正 11年創業



酒には溺れない。私が溺れたのはダンナだけ。

「古さ」が味わい深い酒屋は日暮れの頃に開店

加島屋酒店

住 豊平区平岸3条4丁目2-5
営 17:00〜21:00 休 日曜日

昭和 52年創業



40年間ずっとマドンナ！

今もなお60歳を過ぎた学園OB達が集まる老舗。

喫茶ワルツ

住 豊平区旭町4丁目1-22
営 8:00〜19:00 休 日曜日・祝日

学園前 いつもの場所 それぞれの時間

北嶋 14:30 きそば 小がねにて

大学に入学してすぐに、ここでアルバイトはじめました。家賃は仕送り、生活費はバイト代でなんとか。だから、バイト後のまかないは大助かりでいつもしっかり食べさせてもらってます（笑）。働きはじめてもうじき1年。昼はアルバイト、夜は学校で自由な時間はほとんどないけれど、学校の卓球サークルはとっても楽しみですね。わたし、小学校からずっとやってたんですよ、卓球。今は週3回、授業後の1時間だけなんですけど、大学の仲間と過ごせるとっても大事な時間です。

◉取材協力／萩野友香さん　栗山町出身。北海学園大学2年生。豊平8条9丁目の「きそば小がね」で働きながら、学業と両立、高校教師を目指している。



探し物はなんですか〜 見つけにくいものですか〜

18:00 喫茶ワルツにて

ねえ学生さん。
私たちが学生さん位の頃はフォークソングの全盛でさ、モテたい一心で学校の空き部屋でそりゃあ夢中で練習してたなあ。社会に出てからは音楽なんて見向きもせずに仕事してきたけどさ。
50も半ばにさしかかった頃、「人生振り返ったら仕事しかなかった」って。ふと思ってね。それでまたこうしてギターをはじめたわけ。指も大分動かなくなってるけどさ、それでも仲間と切磋琢磨しているよ。ここに来ると学生だった頃に戻れるんだよね。60過ぎても先輩は先輩、後輩は後輩。
ねえ、学生さん。
いつか、お金と時間にちょっとだけゆとりが出来た時、きっと、かつての趣味があなたの人生を照らしてくれる。だからさ、がんばんなさいよ！

◉取材協力／清水組　清水さん率いる学園OBを中心とした平均年齢61才のバンド。毎週土曜日の夕方、旭町4丁目の「喫茶ワルツ」に集まって練習に励んでいる。



◉取材協力／スナックとよひら 城戸久美子ママ
国道36号線沿い、青い屋根が目印の「スナックとよひら」。チャーミングでパワフルなママは 豊平生まれ豊平育ちの66歳。

23:00 スナックとよひらにて

ねえ、学生さん。
私が学生さん位の年の頃は子育てに忙しい毎日だったわねえ。生まれも育ちも豊平で、この近くの酒屋の娘だったのよ。
店のお客さんとはもう長い付き合い。子どもの同級生のお母さん、近くの八百屋のお嫁さん、ああ、そこでひとりで呑んでるおじさんなんてさあ、若い頃に喫茶店で知り合って、それ以来、どういうわけだか家族ぐるみの付き合い。若い頃はまあまあイカしたオカッパだったのが、いまじゃあすっかり・・・ねえ（笑）だけどさ、こうしてこの年まで商売やってこれたのはこのマチの人や仲間に助けられてるから。本当にそう思うのよ。
ねえ、学生さん。
仲間と一緒に年取ってくのも悪くないわよ。一緒にバカ笑いして、おんなじシワ作ってさ。
あんたもがんばんなさいよ〜。



10:00 出光セルフ平岸SSにて

うちは一つ年上の兄に双子の僕と妹と、なにせ年の近い3兄弟。それぞれ別々の土地で学生生活を送ってます。3人分の学費を工面してくれてる両親には、ホント頭が上がりません。高校時代はラグビーやっていたんで、体力には自信あり。冬はスタンドの雪かきにずいぶん重宝されてました(笑)。そういえば去年、高校のOBチームの試合に助っ人で参加したんですけど、チームスポーツってやっぱいいっすね。アツイ闘いには「感動」と「ドラマ」があるんですよね！・・なんて思ったら、また何かやりたくなりました。次はバスケかな。春に向けて、社会人チームを探し中です。

◉取材協力／本城裕伍さん 上富良野町出身　北海学園大学2年
平岸3条条1丁目の「出光セルフ平岸SS」で働いている。樋口一葉の「十三夜」がお気に入りという読書家。

春の学園エリアで おやつ散歩

今日のおやつ、何食べる？なにか美味しいものが食べたいね。さあ、「歩らいぶ」持ってレッツゴー！

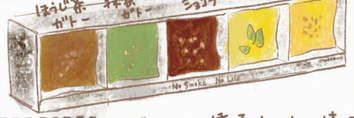


ここのスコーンは ザクザクと歯ごたえがしっかりした食事系

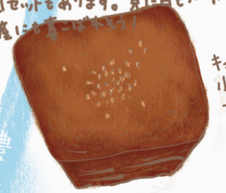




くんせいの いい香り…



しっとり焼き上げた燻製キューブケーキは全5種類、各350yen。ちょっぴりオシャレな専用ケース入りの5個セットもあります。見た目もかわいいので手土産にもぴったり！



燻製焼き菓子専門店 おず SMOKE LAB

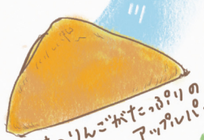
札幌市豊平区旭町3丁目2-2
TEL：011－799－0211

まず、材料に燻香をつけて、焼く時にもさらに燻製（重ね燻し製法）するんだって！スモーキーな薫りの中にほのかな甘さが大人のスイーツって感じ。ウィスキーとかお酒にも合いそう！

キューブケーキは全て小麦粉不使用。おから入りのグルテンフリー！

次はあっち！

おいし♡



シナモン風味のりんごがたっぷりのアップルパイ



かわいい店内
オリジナル雑貨も売ってます



アップルカスタード 280yen

牛乳バター卵を贅沢に使用
生地そのものがしっかり、モチモチとして美味しい
余市産りんごを通年使用してるのも 魅力的
ステキなこだわりだなあ

pie & crepe Clover

札幌市豊平区平岸3条5丁目1-18
TEL：011－887－0707

平岸街道みながらおやつ休憩

CLOVER





パンのお店 fils

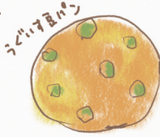
札幌市豊平区豊平3条8丁目1-1 ハイム亜庭1F
TEL：011－557－0356

息子もパンも宝物



ゴキトの越智さん

菓子パン、惣菜パン、ハード…とバラエティに富んだパン屋さん。店名の「fils（フィス）」はフランス語で「息子」って意味なんだって。旬のものを使った期間限定のパンも美味しそう～



うぐいす豆パン



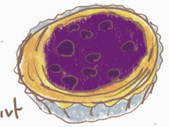
ベーコンぱん



チョココロネ



緑の看板が目印！大きくて結構目立つ



ベリータルト 180yen

サンモリッツ

札幌市豊平区 豊平8条12丁目
TEL：011－815－0815



こんなオーダーメイドもok

似顔絵ケーキを描する三橋さん



どれも丁寧に作られているのに価格はお手頃でありがたい。オーダーですが、キャラクターや似顔絵等のデザインケーキをお願いできます。どれも、ハイ・クオリティ!!



豊平区の おもてなし憲章 知ってる？





札幌ドームをはじめ様々なスポーツ施設があり多くの人が訪れる豊平区では、来“豊”者（※ルビ：らいほうしゃ）をおもてなししようと、様々な取り組みをしています。そして今回「おもてなし憲章」なるものまで作ったのだとか。若手職員のみで課を横断して活動する「職員プロジェクト」の横江さんと渡部さんと一緒に、お話を聞きに行ってきました。



渡部 介（たすく）さん

冬季アジア札幌大会では応援隊も担当。地域の人あっての自分達なので、連携しあうことでいい関係でいられたらと考えています。

横江 瞳さん

普段の仕事ではみなさんに気軽に話しかけてもらえるよう意識しています。自分も楽しみながらおもてなしができたらと思います。



おもてなし部会
ワーキンググループの
リーダー的存在

北海商科大学
加藤 由紀子教授

おもてなし憲章とは、豊平区に来てもらった人に楽しんで帰ってもらうために、私たちが何をすれば良いか？という行動指針のようなものですね。おもてなし部会の中でいろいろなことを話し合い、「迎えます　来豊者を親切に　あたたかく」「伝えます　愛着と誇りを持ってまちの魅力を」「創ります　きれいで安心な　花と緑のまちを」の3つをおもてなし憲章とし、それを区民に伝えるために「とよひらおもてなしガイドブック」を作りました。

憲章というと難しく聞こえるかもしれませんが、おもてなしってそんなに難しいことではなくて、もし自分が相手の立場だったらどうして欲しいかな？って考えてみるとわかりやすいですね。笑顔と真心があれば大丈夫です（笑）。おもてなし憲章を胸に、みんながほんの少しでいいから意識してくれたら、今よりももっともっと素敵なまちになるんじゃないかなと思います。



とよひらおもてなしガイドブック
区役所や区内まちづくりセンターで配布しています。

おもてなしの取り組みはコチラから

豊平区　おもてなし





次は、豊平区のアップルスマイル大使、
女子アイスホッケー選手の藤本那菜さんに
お話を聞きました。

女子アイスホッケー日本代表
藤本 那菜さん



―海外経験も豊富な藤本さん、海外と日本のおもてなしの違いを感じることはありますか？

海外の方は、いい意味でとてもフランクで親しみを感じますが、日本は、施設もきれいで細かな部分まで気配りが行き届いていると思います。

先日のアジア大会でも、日本の文化を伝えるコーナーがあったのですが、海外選手だけじゃなく日本の選手にも人気でした。（笑）

―今まで自分が受けた中で印象的だったおもてなしはありますか？

ニューヨークに居たときは、チームメイトが日本食レストランに連れて行ってくれました。自分への思いやりが感じられるおもてなしは、とっても嬉しかったです。

―豊平区の中で好きな場所はありますか？

豊平区は自分が育った慣れ親しんだまちなのですが、りんご の樹が並ぶ通りは印象的で他にはない好きな場所です。

―アイスホッケーの魅力を教えてください。

攻守の切り替えが早くて迫力があって、それはテレビの画面からはなかなか伝わらないので、ぜひたくさんの方に生で観て欲しいです。

―那菜さんのポジション、キーパーの魅力を教えてください。

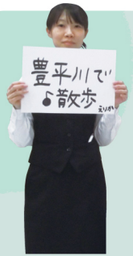
キーパーは、試合の行方に直接関係するポジションなので、責任が大きい分、勝利したときの喜びも大きくてとても楽しいポジションです。

―最後に、日本代表のスマイルジャパンとして、豊平区のスマイル大使として一言お願いします。

どちらにもスマイルという言葉が含まれているように、笑顔を大切にしたいと思います。そして、スマイルジャパンとして結果を出すことで注目される機会が増えると、豊平区をアピールできる機会も増えるので、活躍できるように頑張ります!!



写真提供：
日本アイスホッケー連盟





プレミアホテル−TSUBAKI−札幌
小林 絵里香さん

北村 葵さん

寺田 里紗さん



豊平六郵便局
榎本 誠一さん





プレミアホテル−TSUBAKI−札幌
立蔵 雅道さん

札幌ゲストハウス waya
七尾 広恵さん

豊平区の魅力を教えて!!

毎日笑顔で働く豊平人に、
豊平区の魅力を教えてもらいました。



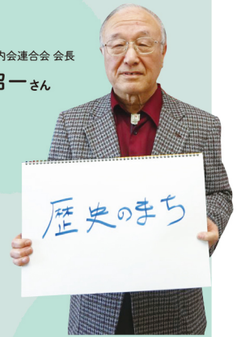
札幌ゲストハウス waya
アニル・サーピンさん



株式会社フジプライズ
北海道支店
奈良 詩織さん



札幌ゲストハウス waya
柴田 涼平さん



豊平地区町内会連合会 会長
中川 昭一さん



りんごに見立てた
ミニトマトがとっても
可愛いです。

こりめカレーを提供する
お店がもっと増えて
豊平区の名物に
なるといいですね！

羊のハンバーグは、食べやすいようにと羊と豚の合い挽きになっているところがポイント！リンゴはなんと福神漬けに。りんごの素材そのものの甘さが、マイルドだけどピリ辛なカレーと相性抜群。

レストランHarapeco

住 豊平区豊平3条7丁目2-1
エクセレントハウス豊平37 1F
T 011-832-2246
営 11:30〜15:00(L.O.14:30)
休 日曜日・祝日

店長
須藤 誠さん

りんご と ひつじのお肉 を使用した

子ども応援！こりめカレー

豊平区のキャラクターであるりんごの「こりん」と羊の「めーたん」(略して「こりめ」)にちなんだ、りんごと羊を使ったカレーを豊平区の商店街で提供しています。1食当たり料金の3%が区内で活動する子ども食堂へ寄付される、子ども応援メニューです。豊平区に来たときには、ぜひこりめカレーを味わってみてくださいね！

※2017年3月現在、区内の提供店は8店舗。



野球部出身の僕も
さすがにお腹いっぱい、
大満足です！

学生さんが多いマチだから、
とにかくお腹いっぱいに
なってもらいたくてね（笑）

ごはんの上にはお蕎麦屋さん自慢のカレー、その上にはなんと、すりおろしりんごを使った自家製タレのジンギスカン！さらに「ジンギスカンをする時はうどんを入れるでしょう」と、焼きうどんまで！もちろんお蕎麦もついています！

そば処 更科

住 豊平区豊平3条7丁目3-21ニューライフ豊平1F
T 011-811-6669
営 11:00〜21:00
休 日曜日・祝日

店主
五十嵐 英夫さん

人を探すなら「アルキタ」編



スタッフさんの採用は情熱と真心いっぱいのアルキタへ

南営業所：011-863-7444

HAJ 株式会社 北海道アルバイト情報社

仕事探すなら「アルキタ」編





自分にぴったりのお仕事探しは

アルキタ HAJ　ジョブキタ HAJ　しゅふきた HAJ　アルキタ学生応援ナビ HAJ











今回歩らいぶ編集チームが訪れたのは、
豊平＆学園エリア。
取材をスタートしたのは
ドカ雪が行く手を阻む頃でした。
中心部からこんなに近いのに、
意外と知らないこのマチの事を知りたくて、
冬の豊平をぐるぐる歩いてみると、
楽しくて素敵な出逢いが
たくさんありました。
「写真？そういうの恥ずかしいからいいって！」
そういいながらも暫くすると
「・・・せっかくなら」と
小道具まで出してポーズを取ってくれたり、
扉を開けた途端
「ハロ〜ハロ〜！よ・う・こ・そ〜！」と
陽気に出迎えてくれる
居酒屋の常連さんに驚かされたり。
「あんたたち来るって言うからごはん支度してあるよ」
白い湯気が立ちのぼる温かい汁と美味しいごはんを
ご馳走してもらった事もありました。
自家製の、大きくて真っ赤な梅干しが
とっても酸っぱくって美味しかった。
ちょっぴりお茶目で
心優しいヒトたちがいるこのマチで、
人の温もりに何度も
ほっこり、ほろりとさせられました。
陽気で、話好きで、
世話好きな人たちが暮らすマチ。
このマチの魅力を少しでも
お伝えできたら嬉しいです。

2017年4月14日 歩らいぶ編集チーム











QUOカード・ライフスタイル自転車 Present!

マチ歩きBOOK
歩らいぶ 豊平＆学園エリアの
感想をお寄せください

ご感想をいただいた方の中から抽選で10名様にクオカード（1,000円分）を差し上げます。また、本誌（25P）登場の13ROCKさんより、ライフスタイル自転車（VOLT BICYCLE）を、抽選で1名の方に、プレゼントします。

期間／4月14日〜5月31日

当選者の発表は
賞品の発送をもってかえさせて頂きます。
（自転車の当選者には別途連絡致します）

下記QRコード、
又は「歩らいぶ」ホームページより
ご応募ください。
https://www.haj.co.jp/holive/

または
歩らいぶ　検索

⬅こちらよりアクセス&ご応募下さい

※自転車を希望の方は、アンケートフォーム内の「自転車プレゼントに応募する」にチェックをお願いします。
※自転車は、ご自分でお店まで取りに来られる方とさせていただきます。



《店舗情報》
13ROCK（ヒサロック）
豊平区5条3丁目1-20
011-832-1369

※ライトは別売りです